

▷芦屋市民憲章

わたくしたち芦屋市民は

■文化の高い教養豊かなまちをきずきましょう

■自然の風物を愛し、まちを緑と花でつみましょう

■青少年の夢と希望をこやかに育てましょう

■健康で明るく幸福なまちをつくりましょう

■灾害や公害のない清潔で安全なまちにしましょう

# 広報 あしや

11月5日 第216号

発行所 芦屋市精道町93 芦屋市役所 発行人 芦屋市長 編集 公聴広報課 印刷所 オール出版印刷KK 毎月1回5日発行 全世帯配布 昭和29年1月25日第3種郵便物認可(定価2円)



村川行弘氏



黒川いく子理事長



故高石勝男氏



増田稲三郎氏



大野加久二氏

昭和42年

第216号

## 初の「芦屋市民文化賞」

6万市民の感謝を表わし

### 受賞された方々

第一回「芦屋市民文化賞」を受賞された方は次のとおり。

園田町にお住まい。

村川行弘氏 (四十二才) 昭和二十七年から市史編集に協力のかたなら、三十一年から四十年にかけて、会下遺跡をはじめ八十塚古墳朝日ヶ丘遺跡など市内埋文化財の発掘調査を指導され、その資料保存、研究、考収につくされた業績は大きい。また、各調査に加わった青少年の歴史研究グループの育成にもとめられ、それは、現在、市内の文化財研究会が所蔵されており、なかには国宝

尼崎市東

跡調査も手がけられています。

尼崎市東

市立小学校

校の新校舎が十月二十日完成しま

した。一階が普通教室、二階が図書室、三階は製陶ガマもある岡工

室となっています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

今後さらに、山手中学校の体育

館床張工事や精道小学校の防水工

事など、各校園で補修改良事業が

つづき進められることになっ

ています。

いま市内では精道小学校と市立

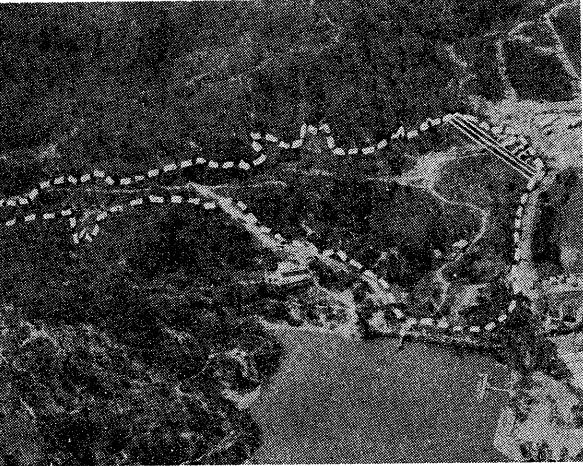
高校で建築工事が進んでいま

すが、さきの市議会で教育費は約一

千二百万円補正増額されました。

# 水資源確保のため

## 奥山に大貯水ダムを建設



奥山ダムをつくるあたり。手前に見えるのが奥池で、(白い点線で示す部分)はその西南部にある。

### 奥山に前処理施設一部完成

手前でにごりを除去



サトウ、浦、ミタ、ナ

の「色」をみつめたい。

芦屋の色

あじやの色

アシヤの色を。

さわら

芦屋に移り住んで久しくなるが

青屋の色はむつかしい。

芦屋は多様な、雑多な、

古い芦屋と新しいアシヤが混色



墨流しの色面を見るように  
色の層は押しつぶされ、ぐれ  
れずに個々に多角に、  
孤高に多端に、

谷崎文学の芦屋には独自の「声」  
「色」が、ふくよかにも、生き  
生きて美しいものだった。

それを、それを

墨の色が、ふくよかにも、生き  
生きて美しいものだった。

それを、それを

しふる憎い批筆だったと記憶す  
る。「芦屋の色」を、  
やつと見つけましたよ。  
アシヤのイロ  
アシヤの「色」は、  
シックな色です。

それがだ、「芦屋の色」を、  
やつと見つけましたよ。

アシヤの「色」は、  
色ではない色……のような  
淡い、淡い、象牙色。

今世は、個々それ自分の  
色……のものをもって、その人ら  
どういの個性を発散して、堂々と  
押し出している。

アシヤは、色の渦  
の「色」をみつめたい。

芦屋は……

かつて、芦屋を美化した時代があつた。

花森安治さんは、その「芦屋」  
の「色」を、

彼が、パレットの上で、まことに  
おさやかにも分析してくれたこと

が、谷崎文學は、谷崎好みの女性によ  
つて、芦屋を美化した時代があつた。

花の苗を生長につれて、三回移  
植管理してやることと、うすい水  
の球根は、月当たり、通風、排  
水のよい砂質土壤に植えつけま  
す。植えつけは、まず花壇をよく  
耕して、油かすの骨粉、過磷酸  
鉄、米ぬかなどを配合した肥料を  
まかねて予定です。

これらが増加している市東部の山  
地を開発して新しい市街地を開発  
する計画を実施する最も大き  
な理由は、さきにも説明しま  
したように、青屋川原水の枯渇の  
ためですが、このために生じる不  
足分を、仮に阪神水道の水をホ  
ンで揚水する費用を計算してみ  
ますと、将来、阪神水道の水代が  
値上げにならないとしても、十年  
後までにあゆみをくり返してみま  
す。河川流量に持続性が乏しく  
なる、いっぽうの現在、奥山ダムの  
運用でき、他の市の制約を受けこ  
なっています。

そこで市水道部では、新しく水  
道の第四期拡張計画を立て、奥  
山ダム(通称第二奥池)を建設し  
て、水道の水の必要量はふえて  
います。とくに、朝日ヶ丘町方  
面の丘陵地を開発して新しい市街  
地をつくる北部土地区画整理事業  
を行なっている地区や、急激に  
人口が増加している市東部の山  
地では、近い将来にその水が  
続きをしています。

本年から五年計画

### いま、事業認可の申請中

第四期拡張計画とは、本市の水  
立筋になります。また、一人一  
道を昭和十三年に創設して以来、  
日当たりの平均使用水量は〇・三  
五立方㍍、最大〇・四三五立方㍍  
いままでに三回の擴張をしてきて  
おり、今回の計画が四番目に當た  
るという意味です。この計画を立  
案するに当たって、まず昭和五十  
七年における本市の人口を、最小  
自乗法によって算出してみると  
いた給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は三万五百立方㍍、最大三万八千  
アースダム(土えん堤)で、満水

第四期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍以上の貯水できるダムをつくる  
ことがおもな工事です。ダムの構造  
は、既設水路、既設水路、既設水路  
の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

第三期拡張計画では、青屋川の上  
流池の谷、すなわち現在の奥池の  
すぐ西南部の土地に、三十万立方  
㍍の整備充実、阪神水道からの受け  
入れの推進給水普及率を九五・七%と  
した給水人口が八万七千二百六  
人となり、一日の平均給水量  
は、長さ百六十㍍、高さ三十㍍の  
アースダム(土えん堤)で、満水

</



